

《 競技注意事項 》

1. 規則について

本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場が開門していない場合は、絶対に場内に入らないこと。開門時間 7:30 (予定)

競技場は、全天候舗装である。トラック走路の厚さは 13mm、フィールド助走路の厚さは 18mm である。スパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳、やり投のピンの長さは 12 mm 以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が 4mm 以内、スパイクのピンの本数は 11 本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、WA 競技規則 TR 5 を厳守すること。

競技用シューズの靴底については、WA 競技規則 TR 5 (シューズ) を守ること。

国体選考の成年の種目以外はフィールド競技用シューズについては適用しない。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場内で行うこと。フィールド競技の練習は、招集完了時刻を過ぎてから競技場内で行うことができる。特に、投てき練習は、競技役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。

最初の競技開始 30 分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1～3 レーンは周回練習、5～8 レーンはスピード練習とする。ただし、ホームストレートの 7・8 レーンはハードル練習とし、4 レーンにコーンを設置する。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※ フィールド種目の練習開始時刻は、競技役員の指示に従うこと。

※ 競技場以外のいかなる場所でも投てき練習は禁止する。

※ 三ツ沢競技場周辺の公園内での練習は禁止する。※ 駐車場内での練習は厳禁。

4. 招集について

① 招集は招集所 (競技者係) において本人が受けること。その後現地で最終チェックを行う。

② 招集場所は 100m スタート地点付近のダッグアウト内に設ける。

③ プログラムの競技日程に記載の招集完了時刻に遅れた者は欠場とみなし出場を許さない。

④ 男女棒高跳の招集は競技日程記載の時間に現地で行う。

⑤ 招集所では、招集時間内にチェックを受け、アスリートビブス・ユニフォーム・スパイクの点検も受ける。

⑥ 一つの種目に出場していて、他の出場種目と招集時刻が重なる場合は、招集所競技者係に申し出て了解を得る。これを怠った者は欠場とみなす。

5. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、主催者が用意したままの状態 (縦 16 cm、横 24 cm) で使用し、安全ピンは各自で用意すること。跳躍種目では、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。

トラック競技では招集所で腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけること。

① 4×400mR の 2～4 走、4×100mR の第 4 走者は、競技者係でレーン番号の腰ナンバー標識を受け取る。※ 腰ナンバー標識は競技終了後返却しない。

② 安全ピンは各自用意すること。

6. トラック競技について

- ・予選の組・走路順については主催者が抽選し、プログラムに記載する。
 - ・決勝の走路順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。
 - ・トラック競技は、すべて電気計時（1/1000）とする。
 - ・同タイムの競技者及びチームについては、写真を細部まで読み取り優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者及びチームの代表者によって抽選とする。
 - ・少年男子B 1 1 0 m J Hの高さは0.991m、インターバルは9.14mとする。
 - ・少年女子B 1 0 0 m Y Hの高さは0.762m、インターバルは8.50mとする。
 - ・記録会 1 1 0 m J Hの高さは0.991m、インターバルは9.14mとする。
 - ・記録会 1 0 0 m Y Hの高さは0.762m、インターバルは8.50mとする。
 - ・記録会男子3 0 0 m Hの高さは0.914m、インターバルは35.0mとする。
 - ・記録会女子3 0 0 m Hの高さは0.762m、インターバルは35.0mとする。
 - ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは同一チームと確認できるものとする。
 - ・**オーダー用紙の提出時間は第1組の招集完了時刻の1時間前を〆切とする。**
 - ・トラック競技のスタートは1回目の不正スタートで失格とする。
- ※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。

7. フィールド競技について

- ・フィールド競技の試技順は、主催者が抽選したプログラム記載の順番に従い行う。
- ・次の種目は競技運営上、複数の種別を同時刻に行う。

| |
|---------------------------|
| 成年男子走幅跳・記録会男子走幅跳 |
| 成年女子走幅跳・少年男子B走幅跳・記録会女子走幅跳 |
| 記録会男子砲丸投・記録会高校男子砲丸投 |
| 少年男子B円盤投・少年女子B円盤投 |
| 成年男子三段跳・記録会男子三段跳 |
| 記録会男子円盤投・記録会高校男子円盤投 |

- ・跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。（ただし、荒天の場合は別途指示する。）

| 種目 | 練習 | バーの上げ方 | | | | | | |
|-----------|-------|--------|------|-----------|------|------|------|-------|
| 記録会 男子走高跳 | 1m45～ | 1m50 | 1m55 | 1m60～1m90 | 1m95 | 2m00 | | 以後3cm |
| 記録会 男子棒高跳 | 2m60～ | 2m70 | 2m80 | 2m90～4m80 | 4m90 | 5m00 | 5m05 | 以後5cm |
| 記録会 女子走高跳 | 1m15～ | 1m20 | 1m25 | 1m30～1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m63 | 以後3cm |

- ・走幅跳・三段跳の助走路は、（A）はトラック側、（B）はスタンド側とする。
- ・男子三段跳の踏切板の位置は、（A）は砂場から12m00、（B）は11m00に設置する。
- ・女子三段跳の踏切板の位置は、砂場から9m00に設置する。

8. 競技用具について

- ・競技に使用する器具は主催者が用意する。ただし、棒高跳のポール・砲丸・円盤・やり・ハンマーは、各自持参したものを、各競技開始90～60分前までに検査を受けて合格した物は、使用することができる。
- ・国体選考の成年の種目以外はフィールド競技用シューズについてはWA競技規則TR 5（シューズ）を適用しない。
- ・記録会高校男子砲丸の重さは、6.000kgとする。
- ・記録会高校男子円盤の重さは、1.750kgとする。
- ・少年男子B円盤投の重さは、1.500kgとする。
- ・少年女子B円盤投の重さは、1.000kgとする。

9. 抗議について

WA競技規則TR 8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は、競技者に代わる責任者が抗議申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。(正式アナウンス後 30 分以内とする。ただし、同一日に次のラウンドがある場合は、正式アナウンス後 15 分以内とする。)

10. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所競技者係に提出すること。「欠場届」は招集所で配布する。

11. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。なお、文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(WA競技規則TR 6)

12. イエローカード (以下、YC) について

- ・競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- ・同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの提示の累積は、当該種目のみに適用する。

13. その他

- ・役員・選手以外のトラック・フィールドへ立ち入りを禁ずる。
- ・プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- ・使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。
- ・更衣室は、更衣のみに使用すること。各団体の控室のように占有して使用しないこと。
- ・正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- ・スタンド最前列では、立っての応援は禁止とする。
- ・貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- ・全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。
- ・競技場外 (公園内・駐車場・レストハウス) にテント・シート等で占有スペースを設置しないこと。